

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表日 2025年4月29日

事業所名						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	10	1	季節ものの用品や収納しにくいものは休憩室として借りている2階に移動させ、スペースを確保しています。	スペースは狭いが、都度整理整頓し、活動しやすい空間を目指したいです。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11		お子様のご利用に応じて適切な人数で支援させていただいていますが、お子様にとって安全を1番に職員が足りなくならないよう配慮しています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	1	玄関はスロープを付けて段差をなくし、バギー等スムーズには入れるようになりました。	建物の構造上の問題もありますが、お子様にとって都度改善できるよう考えます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11		毎日清掃しています。空間が狭い時は、グループ分けし、子供たちの安全確保を第一に考え活動しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	2	体調不良等必要に応じて事務所を活用しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	11		個別支援計画を立てる前にモニタリングの内容を共有し、個別支援計画（案）を作成し職員の意見が出やすいようにし、支援計画を立てています。	日々の振り返りが共有しやすいように検討中。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		評価表は職員全員が見られるようにしており、改善すべき点は会議やミーティングで話し合う時間を設けています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11		ミーティング、個別面談など、その都度機会を作っています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	11		書類の整理整頓を心掛けています。	自治体より3年に1度程度の実地指導を受け、業務改善に繋がっています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11		事業所内で「虐待防止研修」を行い、外部の研修も可能であれば受講しています。直近では大阪発達支援センターにて研修をして頂きました。	
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	11		2025年4月にホームページにて公表しております。事業所発行のおたより6月号にて詳しく説明させていただきます。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	11		モニタリングを半年に1度行い、5領域に基づいた個別支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	11		個別支援計画を立てる前にモニタリングの内容を共有し、個別支援計画（案）を作成し職員の意見が出やすいようにしています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11		個別支援計画（案）を立て、職員全員見直し、検討しています。検討会議の時間が持てるよう考えていきたいです。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	11		フォーマルなアセスメントは提出してくださったもので確認させて頂き、それを踏まえたうえでインフォーマルなアセスメントを使用し、子ども達にとってより良い支援を模索しています。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	11		5領域を基に子どもたちの発達に偏りなく課題設定できたことは支援する上で分かりやすく、支援内容を振り返りやすくなりました。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	11		職員間で相談しながら、担当者が中心となって立案しています。	

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	11		子ども達の成長に合わせて、遊びが発展できるよう工夫したり、ネット検索で新しい遊びを常に模索しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	11		集団活動において子供たち同士の関わりはとても大切だと感じています。遊びの中でも午前午後の設定時間（30分程度）は集団を意識した遊び。設定時間以外は個別の課題を意図した活動を行っているため、支援計画は両方の目線で立てられています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	2	朝に朝礼を必ず行い、朝と昼の遊び、食事、休憩等決めておく。（お昼の遊びは子供達の様子を見てから決定することあり）	打ち合わせや役割分担が曖昧。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	7	4	改善点が急ぎの場合は職員の共有ラインに入れる。気づいた点などは開所時間は送迎などがあるため、翌日の朝礼にて話し合う。	気づいた点や改善した方がいいことなど毎日だけでなくその都度話した方がいい→改善点が急ぎの場合は共有ラインに入れる。気づいた点などは朝礼の時に話し合う。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11		リタリコのソフトに毎日記録しています。	支援の検証、改善まで繋げるまでのスピード感は遅いように思われるので、話し合ってまず実践してみる。という行動力をつけていきたいです。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11		6カ月以内に行っています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	11		今後、外出支援を計画したいと考えています。	4つの基本活動の内、「地域交流の機会の提供」がほとんどできていない状態です。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	11		絵カードの種類を増やしたり、選択した時に意思を伝える発声が出るまでゆっくり時間を取っています。	選択肢を作ったり絵カードを提示することで選択できる機会を作っています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11		担当者会議や送迎時の申し送りで行っています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	11		担当者会議や送迎時の申し送りで行っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	11		適切に行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	11		担当者会議等で引き継ぎを行い、情報共有できています。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	11			まだ学校を卒業したお子様がおられないので移行支援は行っておりません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	11		大阪発達支援センターにて、Kou+N向けの「医療的ケア児の緊急時対応」についての研修を設けて頂きました。センター主催の全体研修に参加できる職員は出席しています。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	9	公園などで地域のお子様と関わることはあります。	現在交流する機会は設けていません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		11		参加できていません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	11		普段の連絡帳、送迎時のフィードバックなどで保護者様にお伝えさせて頂いています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	5	個別に対応させて頂いております。ご相談がある時はいつでもお声がけください。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	2	支援プログラムは2025年4月よりHPIにて公表。運営規定、利用者負担額については契約時にご説明させて頂いています。ご不明な点があればいつでもご質問ください。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11		モニタリングを行い、保護者様よりニーズをお聞かせ頂いています。	

保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	11		個別支援計画にサインを頂き、ご自宅でも見返せるよう1部お渡ししています。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	11		心配事や課題について送迎時でお話しされない場合などお電話でお聞きしています。ご相談いただく際、忙しいのではないかとお気遣い頂きますが、保護者様からご相談いただくことは子供たちにとってより良い支援、サポートへと繋がりますのでいつでもお話しください。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		11		計画したいと思っていますが、まだ企画、立案までは時間がかかりそうです。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11		迅速に対応させて頂いています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	11		毎月のおたより発行、ブログ、インスタを活用し発信しています。	ブログやインスタの発信が不定期になってしまっていますが、1カ月に2回以上を目指していきたいと思っています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11		留意しています。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11		ベビーサイン、手話、場面の切り替わりの歌、絵カード等を用いています。場合によってタブレット、スマホも利用しています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		11		図っておらず、現在その予定もありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	1	職員会議でマニュアルを作成。職員間で周知しています。年間計画で訓練実施月を決めています。	保護者様へすべてのマニュアルのご説明が出来ていませんでした。5月中にマニュアルをHPに公表させて頂きます。その旨を5月のおたよりでお知らせしています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11		年に2回以上の訓練を実施しています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	11		服薬や予防接種については保護者様よりLINEやお帳面に記入して頂き、てんかん発作についても日々の状況はお帳面に把握。緊急時対応については指示書を頂いています。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	11		対応しています。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	11		行われています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	10	1	業務継続計画をHPで公表していますが、保護者様への周知が行き届いていないので2025年5月号のおたよりでお知らせしました。	安全計画に基づく取り組み内容すべてが公表されているわけではないので保護者様の安心のためにも公表を迅速に行っていきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11		ヒヤリハットをすぐに記入できるよう、事業所内にQRコードを貼付しています。	都度記録するよう目指していますが抜けがちになっています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11		年に1度、すべての職員に事業所内で研修をしています。	途中入社した職員に研修漏れが無いよう留意していきたい。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	11		支援方法については常に話し合い、モニタリングの際に保護者様にご説明させて頂いています。	